

鞍手町
子どもの生活に関するアンケート
報告書

令和7年3月

～目次～

I. 調査の概要.....	2
II. 調査内容.....	4
III. 小学生・中学生の調査結果.....	6
1. 基本属性.....	6
(1) 学年	エラー! ブックマークが定義されていません。
(2) 性別	6
2. 勉強・進路について.....	7
(1) 学校の授業以外の学習状況.....	7
(2) 学校の授業以外の勉強時間.....	8
(3) 学校の授業の理解度.....	8
(4) 将来の進学希望.....	9
3. 通学の状況について.....	10
(1) 学校への行きづらさについて.....	10
4. 生活について.....	11
(1) 1週間の食事の頻度.....	11
(2) 夕食を子どもだけで食べる頻度.....	11
(3) ふだん(月～金曜日)ほぼ同じ時間に寝ているか.....	11
(4) 子育て支援や相談窓口等の利用状況.....	12
5. 家族のお世話について.....	13
(1) 家族のお世話について.....	13
6. 気持ちについて.....	16
(1) 困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人.....	16
(2) 最近の生活への満足度.....	16
7. 子どもの権利について.....	17
(1) 「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」の認知状況.....	17
(2) 自分の権利が守られていると思うか.....	17
IV. 保護者の調査結果.....	19
1. 基本属性.....	19
(1) 子どもの学校.....	19
(2) 子どもとの関係.....	19
(3) 保護者の年齢.....	19
(4) 小学校区.....	19
2. 家族構成について.....	20
(1) 家族の人数.....	20
3. 世帯の状況について.....	22

(1) 家族の単身赴任状況.....	22
(2) 親の婚姻状況.....	22
(3) 母親の就労状況.....	23
(4) 父親の就労状況.....	24
4. 子どもとの関わり.....	25
(1) この1年間において該当する項目の有無.....	25
(2) 子どもとの関わりについて.....	26
(3) 家庭におけるこの1年間での体験の有無.....	26
5. 進路について.....	27
(1) 進路について.....	27
6. 暮らしの状況.....	28
(1) 現在の暮らしの状況.....	28
(2) 世帯年収.....	28
(3) お金が足りなくて買えないこと・払えないこと・控えたことの有無.....	29
(4) 最近の生活への満足度.....	29
7. 支援ニーズ.....	30
(1) 現在必要なこと、特に重要だと思う支援等.....	30
8. 子どもの権利について.....	31
(1) 「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の認知状況.....	31
V. 自由回答.....	34

I．調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

子どもや子育て世帯の生活の実態を把握することにより、今後の子どもの貧困対策等の子ども施策の充実に生かすとともに「(仮称) 鞍手町こども計画」策定の基礎資料とすることを目的として、子どもの生活に関するアンケート調査を実施しました。

2. 調査対象

- ①小学生・中学生 559 件
- ②保護者 559 件

3. 調査方法

- ①小学生・中学生 郵送による配布・WEB 回答
- ②保護者 郵送による配布・WEB 回答

4. 配布及び回収数

	配布数	有効回収数	回収率
①小学生・中学生	559 件	146 件	26.1%
②保護者	559 件	197 件	35.2%
計	1,118 件	343 件	30.7%

5. 調査期間

令和 6 年 11 月 6 日（水）～ 12 月 1 日（日）

6. 集計分析上の注意事項

- ・集計は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- ・複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶことができる方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対してのそれぞれの比率を示している。そのため、合計が 100%を超える場合がある。
- ・図表中の「N」は各項目の集計対象者総数（回答者限定の設問の場合は、当該限定条件に該当する人）を示している。
- ・表、グラフに示す選択肢はスペースの関係で文言を簡略して表記している場合がある。

Ⅱ. 調査内容

Ⅱ. 調査内容

■鞍手町子どもの生活に関するアンケート調査内容

小学生・中学生

項 目	設問内容
1. 基本属性	(1) 学年 (2) 性別
2. 勉強・進路について	(1) 学校の授業以外の学習状況 (2) 学校の授業以外の勉強時間 (3) 学校の授業の理解度 (4) 将来の進学希望
3. 通学の状況について	(1) 学校への行きづらさについて
4. 生活について	(1) 1週間の食事の頻度 (2) 夕食を子どもだけで食べる頻度 (3) ふだん(月～金曜日) ほぼ同じ時間に寝ているか (4) 子育て支援や相談窓口等の利用状況
5. 家族のお世話について	(1) 家族のお世話について
6. 気持ちについて	(1) 困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人 (2) 最近の生活への満足度
7. 子どもの権利について	(1) 「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」の認知状況 (2) 自分の権利が守られていると思うか

保護者

項 目	設問内容
1. 基本属性	(1) 子どもの学校 (2) 子どもとの関係 (3) 保護者の年齢 (4) 小学校区
2. 家族構成について	(1) 家族の人数
3. 世帯の状況について	(1) 家族の単身赴任状況 (2) 親の婚姻状況 (3) 母親の就労状況 (4) 父親の就労状況
4. 子どもとの関わり	(1) この1年間において該当する項目の有無 (2) 子どもとの関わりについて (3) 家庭におけるこの1年間での体験の有無
5. 進路について	(1) 進路について
6. 暮らしの状況	(1) 現在の暮らしの状況 (2) 世帯年収 (3) お金が足りなくて買えないこと・払えないこと・控えたことの有無 (4) 最近の生活への満足度
7. 支援ニーズ	(1) 現在必要なこと、特に重要だと思う支援等
8. 子どもの権利について	(1) 「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」の認知状況

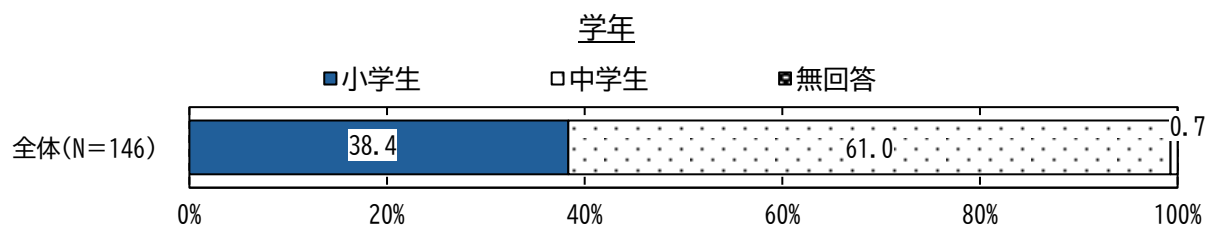
Ⅲ. 小学生・中学生の調査結果

Ⅲ. 小学生・中学生の調査結果

1. 基本属性

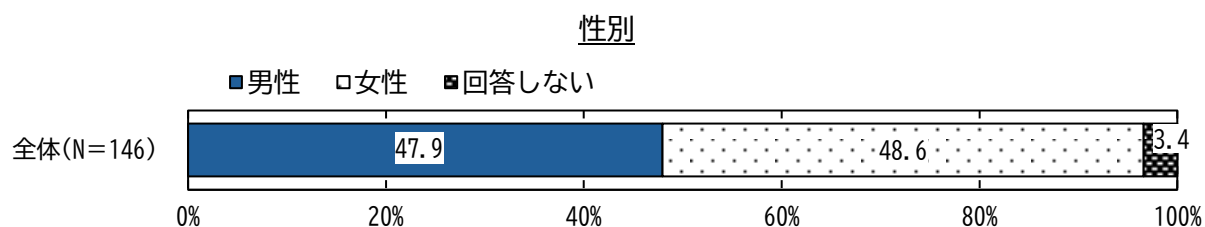
(1) 学年

回答者について、「小学生」は38.4%、「中学生」は61.0%となっています。



(2) 性別

回答者の性別について、「男性」が47.9%、「女性」が48.6%となっています。

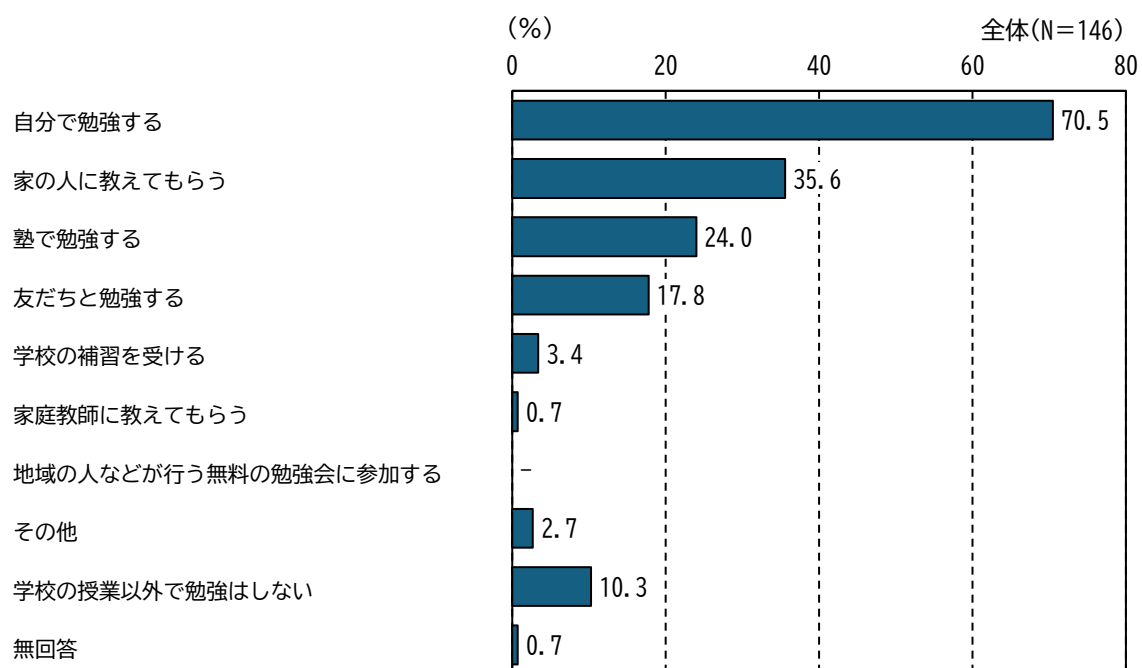


2. 勉強・進路について

(1) 学校の授業以外の学習状況

学校の授業以外の学習状況について、「自分で勉強する」(70.5%)が最も多く、約7割を占めています。次いで、「家の人に教えてもらう」(35.6%)、「塾で勉強する」(24.0%)の順となっています。

学校の授業以外の学習状況（複数回答）



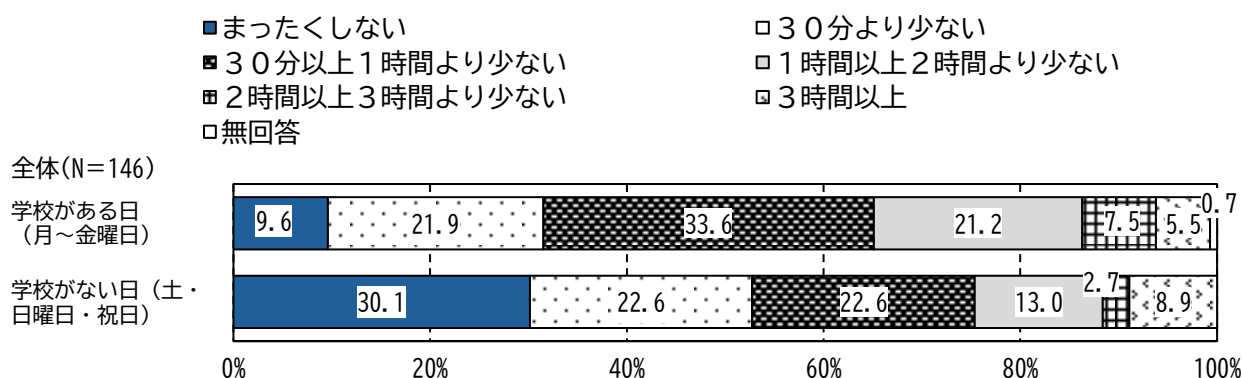
(2) 学校の授業以外の勉強時間

学校の授業以外の勉強時間について、学校がある日（月～金）は「30分以上1時間より少ない」（33.6%）が最も多く、次いで、「30分より少ない」（21.9%）、「1時間以上2時間より少ない」（21.2%）の順となっています。

学校がない日（土・日曜日・祝日）は「まったくしない」（30.1%）が最も多く、次いで、「30分より少ない」と「30分以上1時間より少ない」（ともに22.6%）の順となっています。

学校がある日（月～金）の方が、学校がない日（土・日曜日・祝日）よりも授業以外の勉強をしている人が多い傾向がみられます。

学校の授業以外の勉強時間

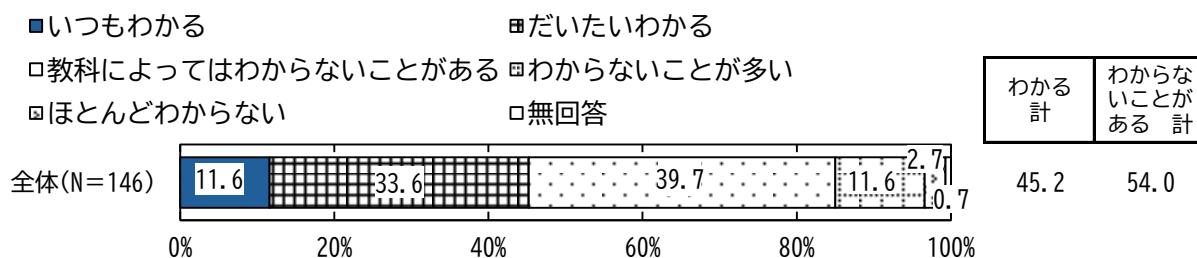


(3) 学校の授業の理解度

学校の授業の理解度について、「いつもわかる」（11.6%）と「だいたいわかる」（33.6%）を合わせた『わかる』割合は45.2%となっています。

一方、「教科によってはわからないことがある」（39.7%）と「わからないことが多い」（11.6%）と「ほとんどわからない」（2.7%）を合わせた『わからないことがある』割合は54.0%となっており、『わかる』割合よりも多くなっています。

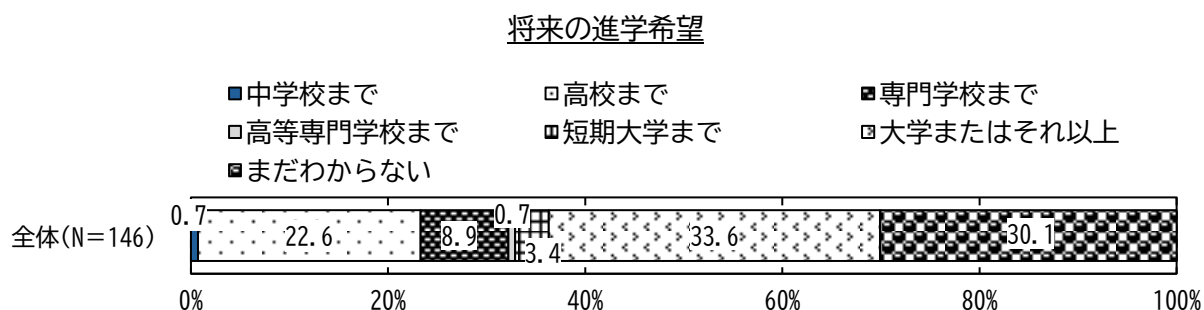
学校の授業の理解度



(4) 将来の進学希望

①将来の進学希望

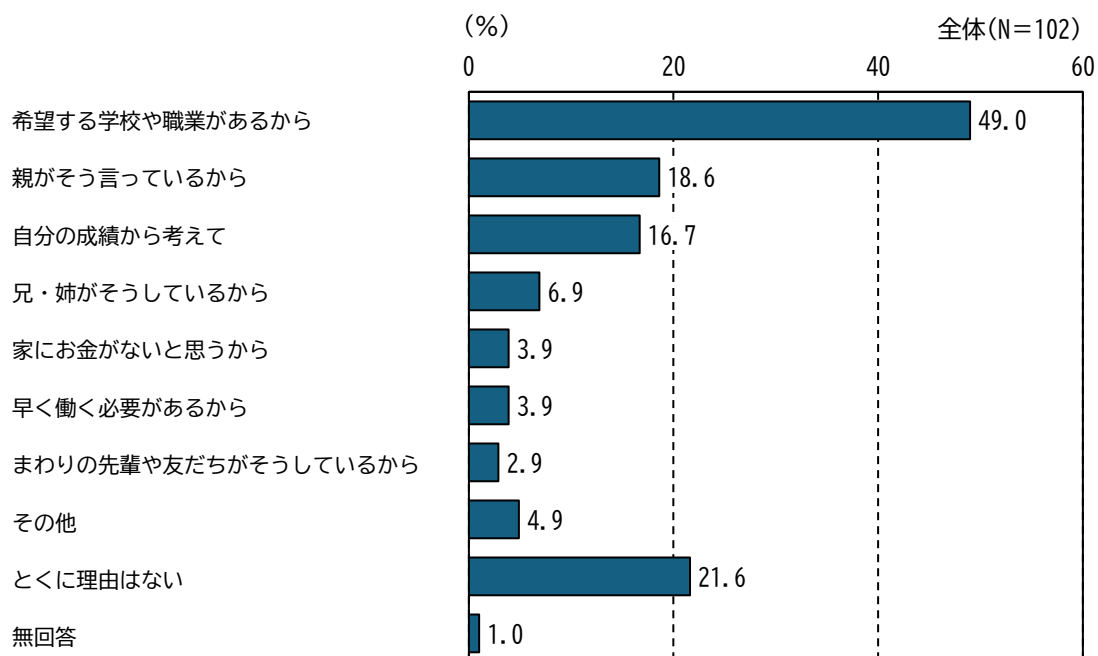
将来の進学希望について、「大学またはそれ以上」(33.6%)が最も多く、次いで、「高校まで」(22.6%)、「専門学校まで」(8.9%)の順となっています。一方で、30.1%の人が「まだわからない」と回答しています。



②進学先の選択理由

進学希望がまだわからない人以外の進学先の選択理由について、「希望する学校や職業があるから」(49.0%)が最も多く、約5割となっています。次いで、「親がそう言っているから」(18.6%)、「自分の成績から考えて」(16.7%)の順となっています。

進学先の選択理由（複数回答）



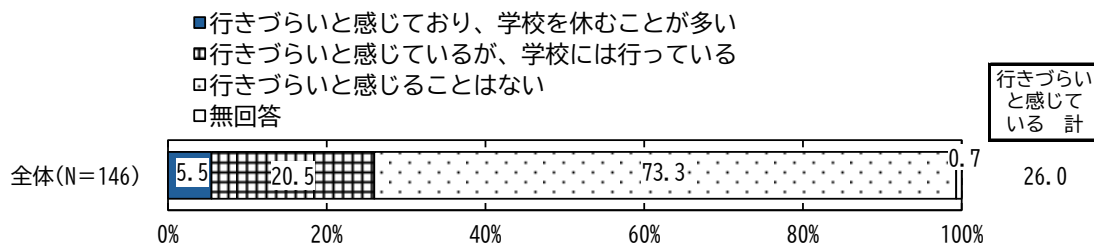
3. 通学の状況について

(1) 学校への行きづらさについて

①学校に行きづらいと感じることの有無

学校に行きづらいと感じることの有無について、「行きづらいと感じており、学校を休むことが多い」(5.5%)と「行きづらいと感じているが、学校には行っている」(20.5%)を合わせた『行きづらいと感じている』割合は26.0%となっています。

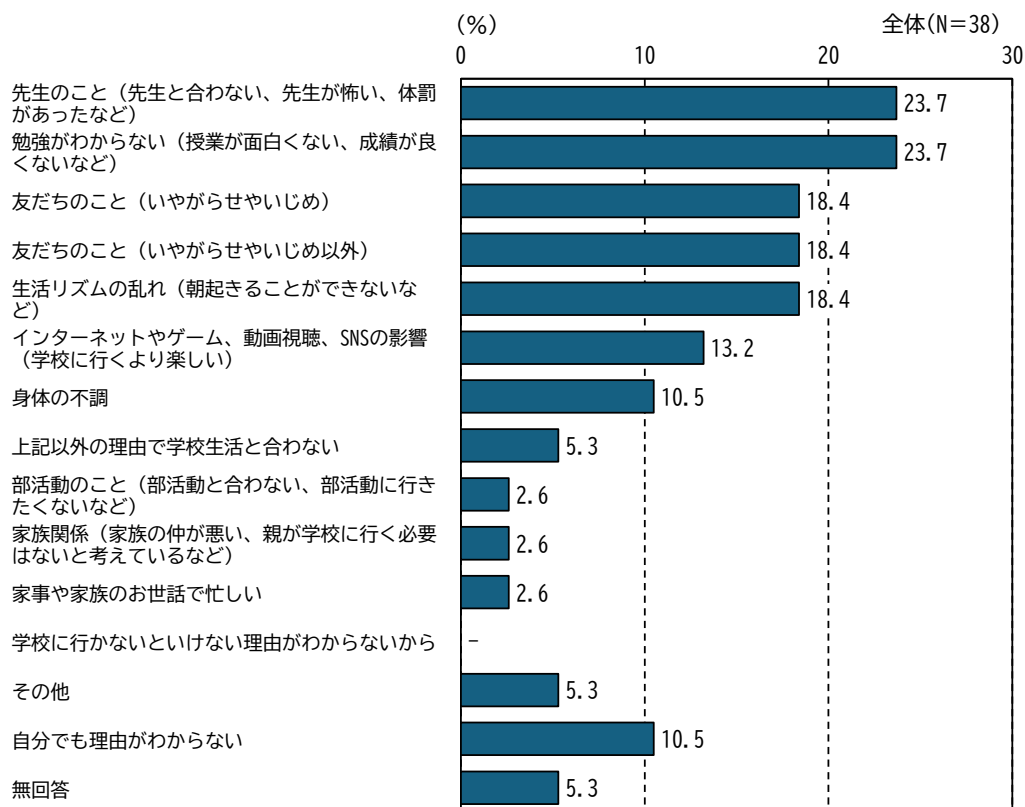
学校に行きづらいと感じることの有無



②学校に行きづらい理由

学校に行きづらいと感じている人の理由について、「先生のこと（先生と合わない、先生が怖い、体罰があったなど）」と「勉強がわからない（授業が面白くない、成績が良くないなど）」（ともに23.7%）が最も多くなっています。

学校に行きづらい理由（複数回答）

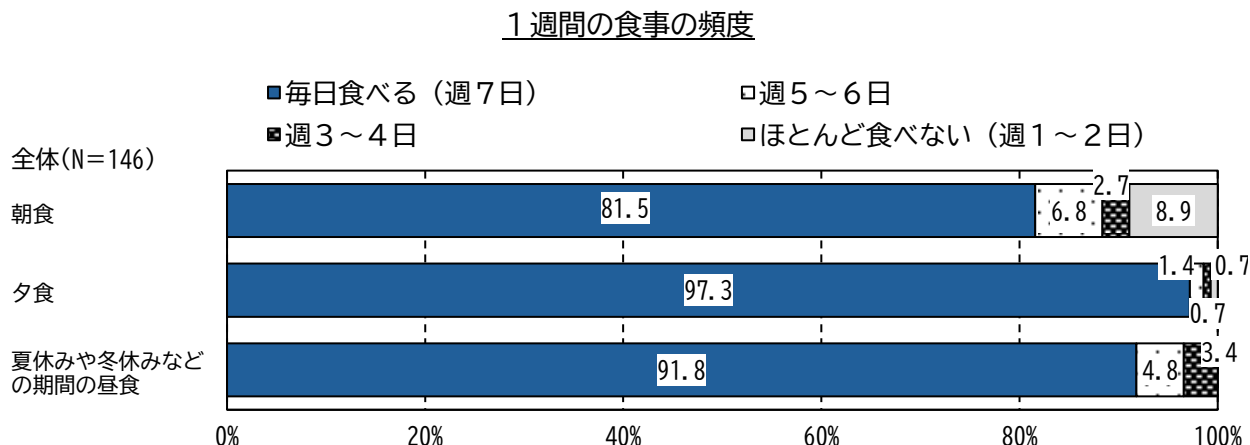


4. 生活について

(1) 1週間の食事の頻度

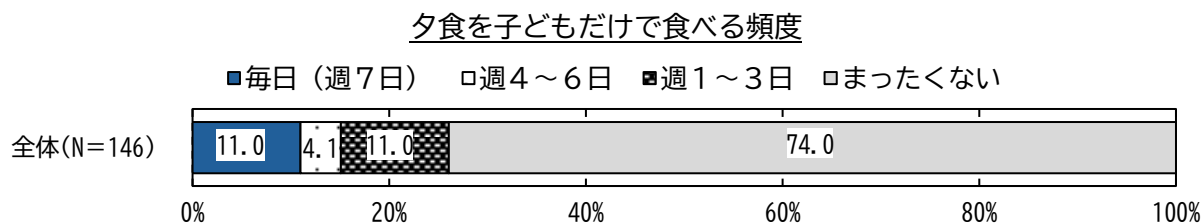
1週間の食事の頻度について、朝食は「毎日食べる（週7日）」（81.5％）割合が8割を超えていますが、夕食や夏休みや冬休みなどの期間の昼食に比べると少ない傾向となっています。

一方、朝食を「ほとんど食べない（週1～2日）」（8.9％）割合は1割弱と少なくなっていますが、夕食や夏休みや冬休みなどの期間の昼食に比べると多い傾向となっています。



(2) 夕食を子どもだけで食べる頻度

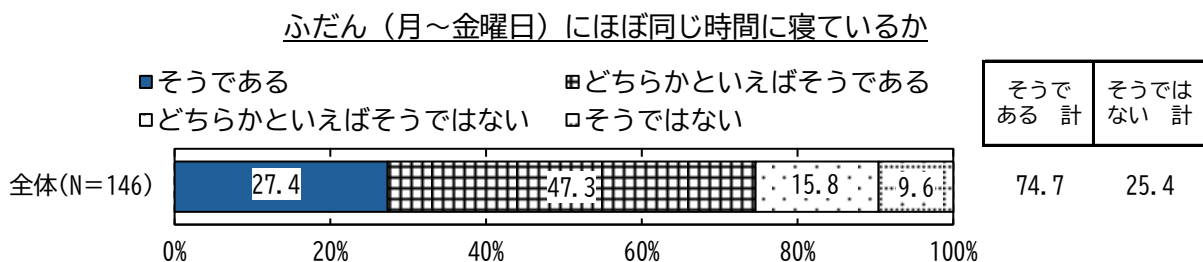
夕食を子どもだけで食べる頻度について、「まったくない」（74.0％）が最も多く7割以上を占めていますが、「毎日（週7日）」（11.0％）も約1割程度みられます。



(3) ふだん（月～金曜日）ほぼ同じ時間に寝ているか

ふだん（月～金曜日）ほぼ同じ時間に寝ているかについて、「そうである」（27.4％）と「どちらかといえばそうである」（47.3％）を合わせた『そうである』は74.7％となっています。

一方、「どちらかといえばそうではない」（15.8％）と「そうではない」（9.6％）を合わせた『そうではない』は25.4％となっています。

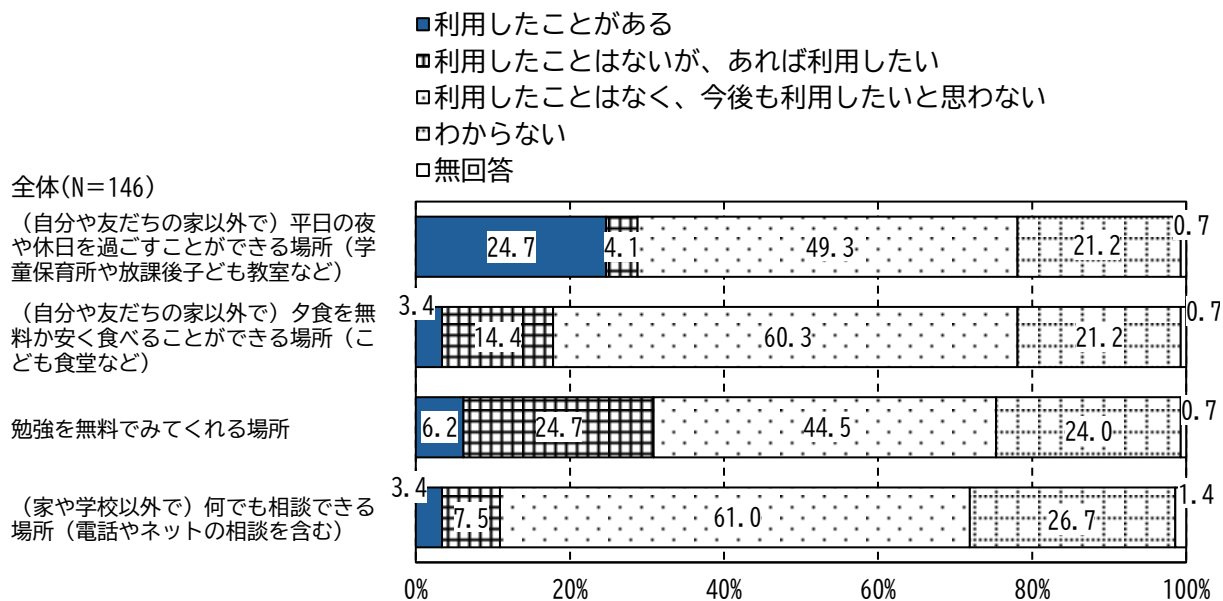


(4) 子育て支援や相談窓口等の利用状況

子育て支援や相談窓口等の利用状況について、「(自分や友だちの家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所(学童保育所や放課後子ども教室など)」で、「利用したことがある」(24.7%)が他の項目よりも多くなっています。

「勉強を無料でみてくれる場所」で、「利用したことはないが、あれば利用したい」(24.7%)が他の項目よりも多くなっています。

子育て支援や相談窓口等の利用状況

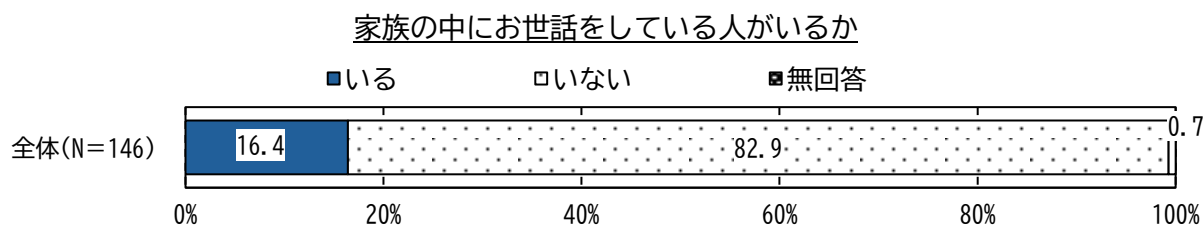


5. 家族のお世話について

(1) 家族のお世話について

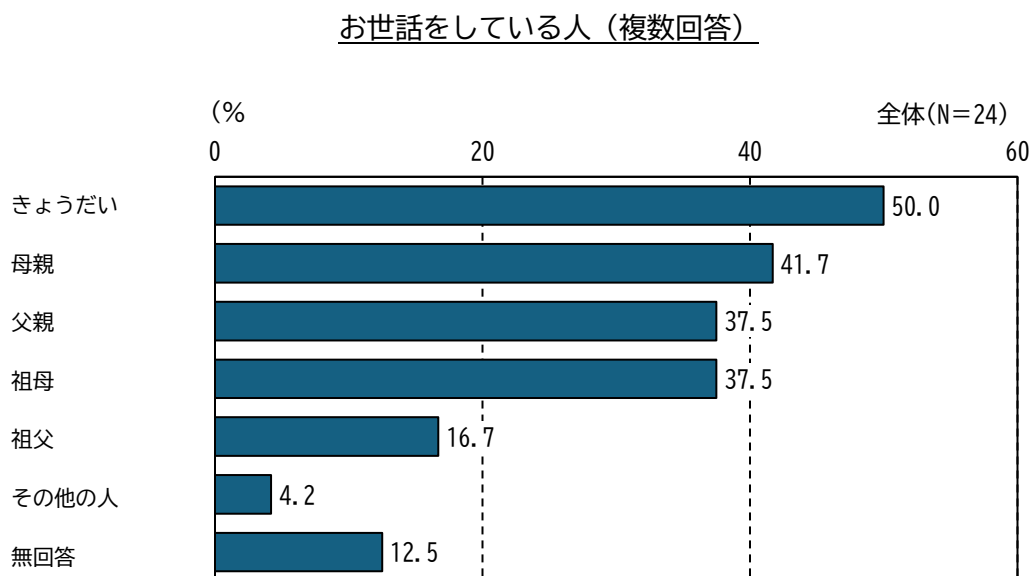
①家族の中にお世話をしている人がいるか

家族の中にお世話をしている人がいるかについて、「いる」(16.4%)割合が1割以上みられます。



②お世話をしている人

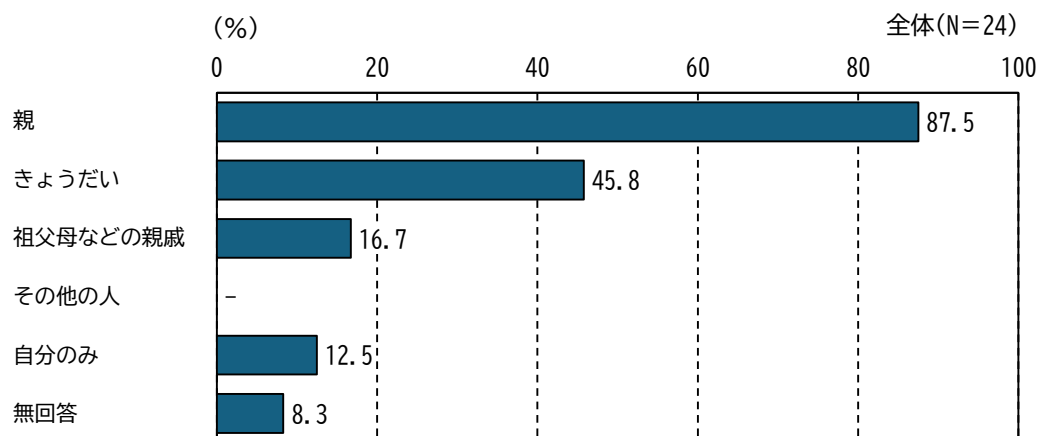
家族のお世話をしている人のお世話をしている相手について、「きょうだい」(50.0%)が最も多く、次いで、「母親」(41.7%)、「父親」と「祖母」(ともに 37.5%)の順となっています。



③一緒に家事や家族のお世話をしている人

家族のお世話をしている人が一緒に家事や家族のお世話をしている人について、「親」(87.5%)が9割弱を占めています。次いで「きょうだい」(45.8%)、「祖父母などの親戚」(16.7%)の順となっています。

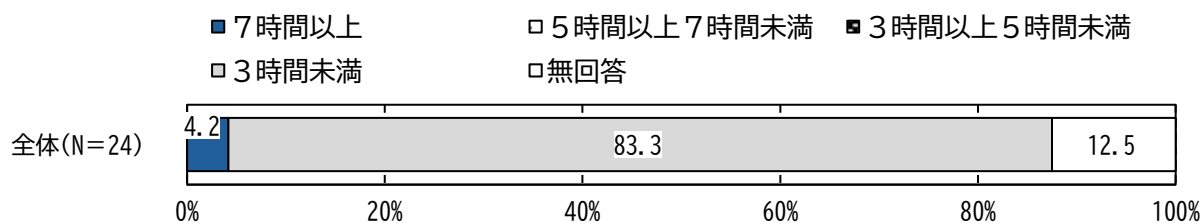
一緒に家事や家族のお世話をしている人



④学校がある日に家事や家族のお世話をしている時間

学校がある日に家事や家族のお世話をしている時間について、「3時間未満」(83.3%)が8割以上を占めています。

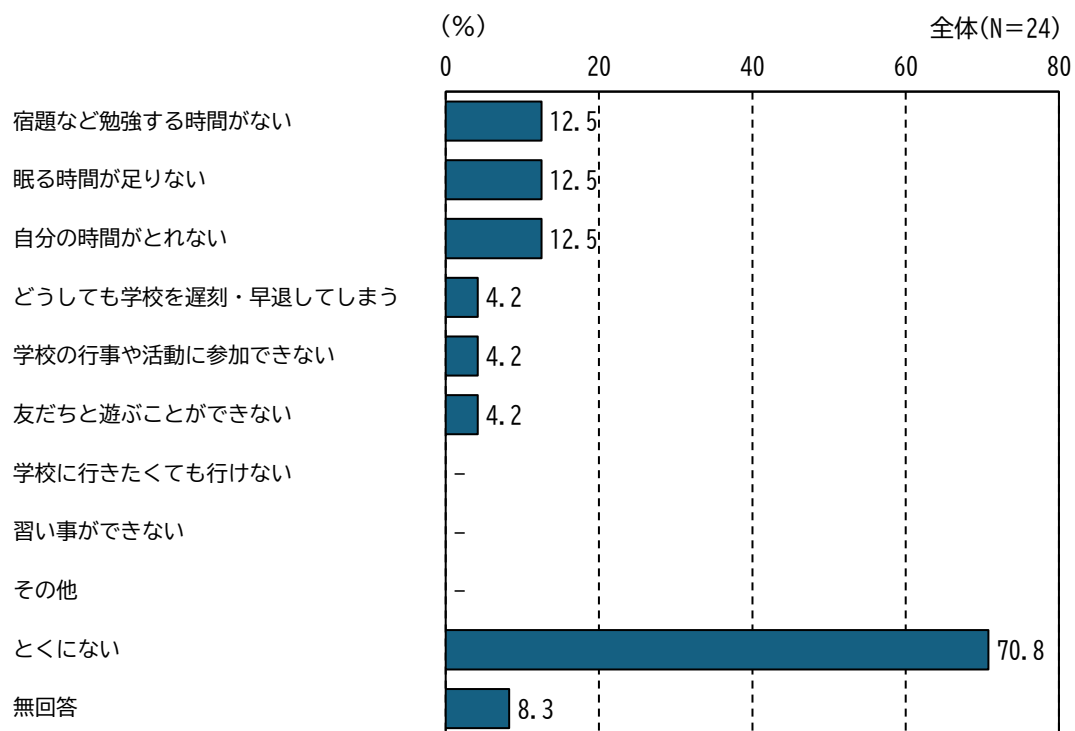
学校がある日に家事や家族のお世話をしている時間



⑤家事や家族のお世話をしていることでした経験

家事や家族のお世話をしていることでした経験について、「とくにない」(70.8%)が役7割を占めていますが、経験した内容としては「宿題など勉強する時間がない」、「眠る時間が足りない」、「自分の時間がとれない」(各12.5%)などがあがっています。

家事や家族のお世話をしていることでした経験（複数回答）

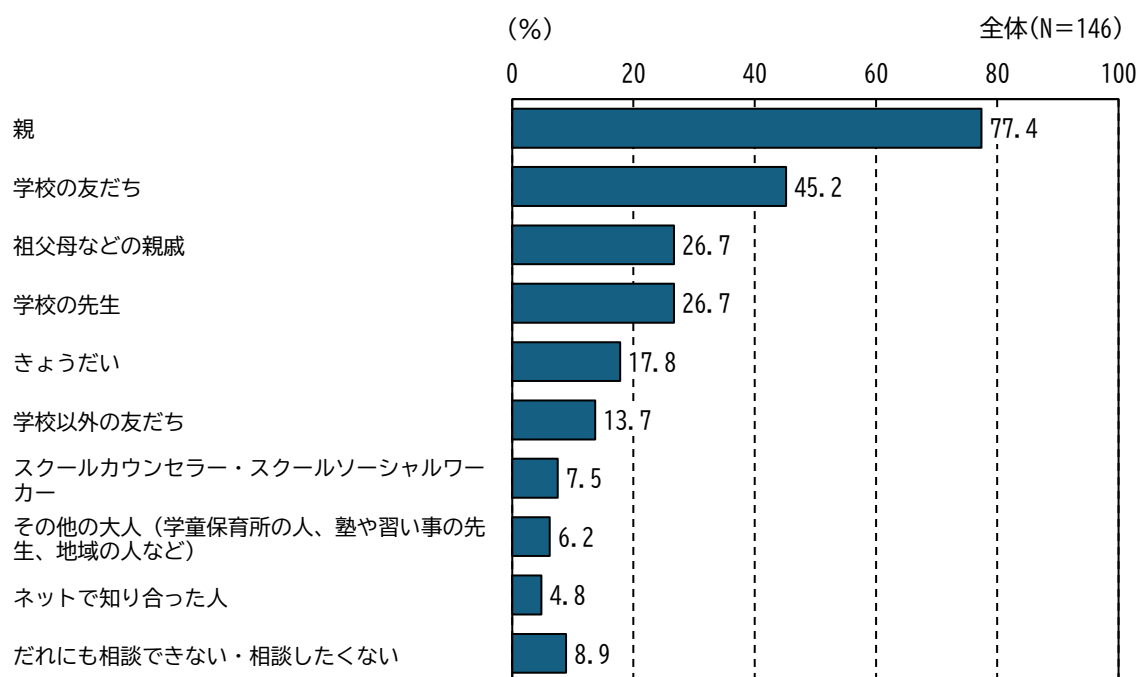


6. 気持ちについて

(1) 困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手について、「親」(77.4%)が最も多く、7割以上を占めています。次いで、「学校の友だち」(45.2%)、「祖父母などの親戚」と「学校の先生」(ともに26.7%)の順となっています。

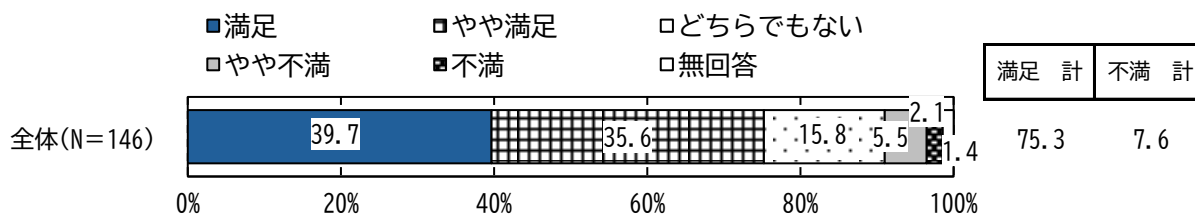
困っていることや悩みごとがあるときに相談できると思う人（複数回答）



(2) 最近の生活への満足度

最近の生活への満足度について、「満足」(39.7%)と「やや満足」(35.6%)を合わせた『満足』(75.3%)の割合が7割以上を占めています。

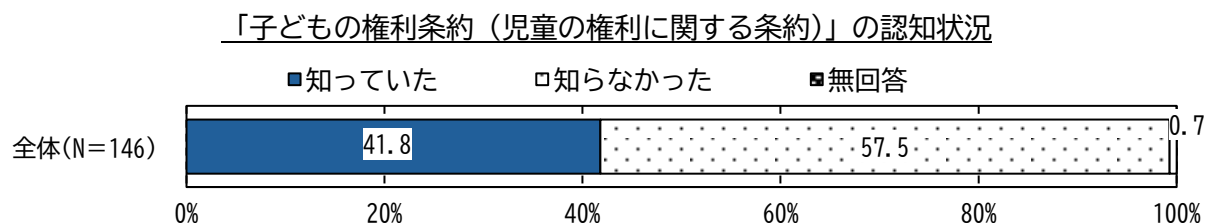
最近の生活への満足度



7. 子どもの権利について

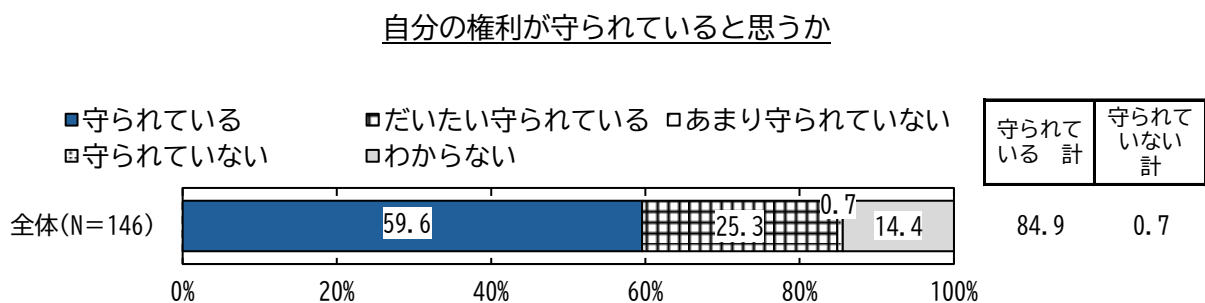
(1) 「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の認知状況

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の認知状況について、「知っていた」（41.8％）割合は4割程度となっています。



(2) 自分の権利が守られていると思うか

自分の権利が守られていると思うかについて、「守られている」（59.6％）と「だいたい守られている」（25.3％）を合わせた『守られている』（84.9％）が8割以上を占めています。



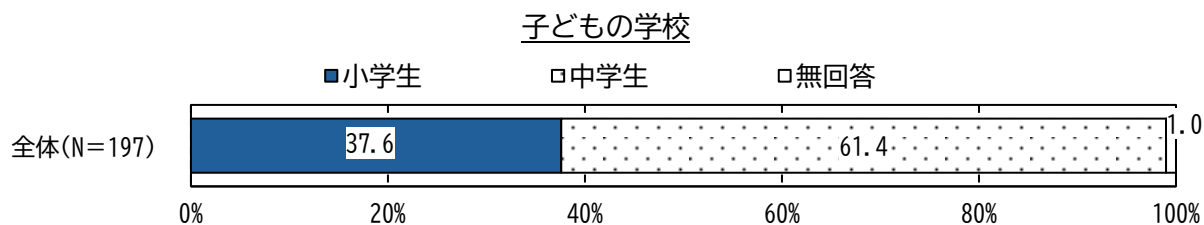
IV. 保護者の調査結果

IV. 保護者の調査結果

1. 基本属性

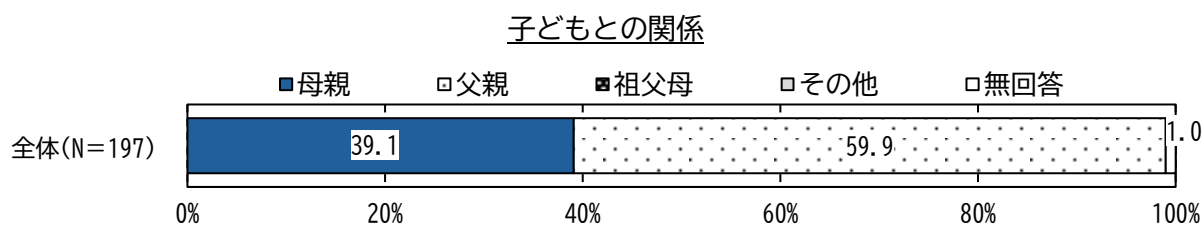
(1) 子どもの学校

宛名の子どもについて、「小学生」が37.6%、「中学生」が61.4%となっています。



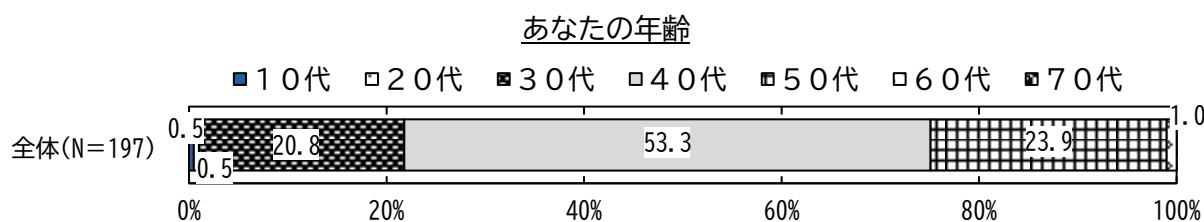
(2) 子どもとの関係

子どもとの関係について、「母親」が39.1%、「父親」が59.9%となっています。



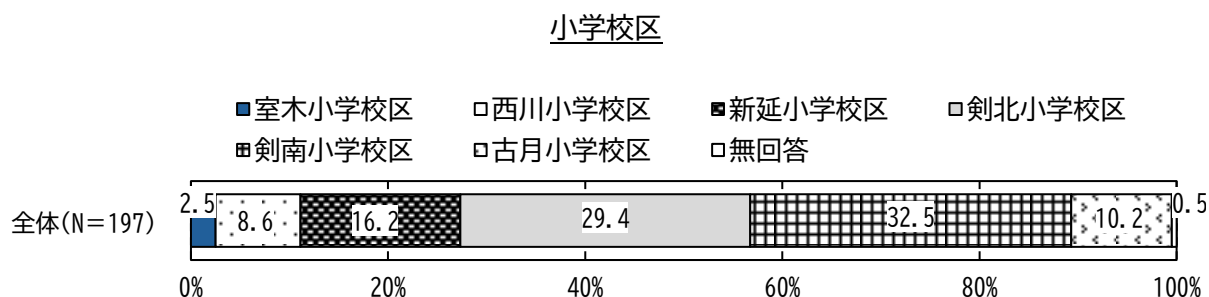
(3) 保護者の年齢

保護者の年齢について、「40代」(53.3%)が最も多く、次いで、「50代」(23.9%)、「30代」(20.8%)の順となっています。



(4) 小学校区

住まいの地域（小学校区）について、「剣南小学校区」(32.5%)が最も多く、次いで、「剣北小学校区」(29.4%)、「新延小学校区」(16.2%)の順となっています。

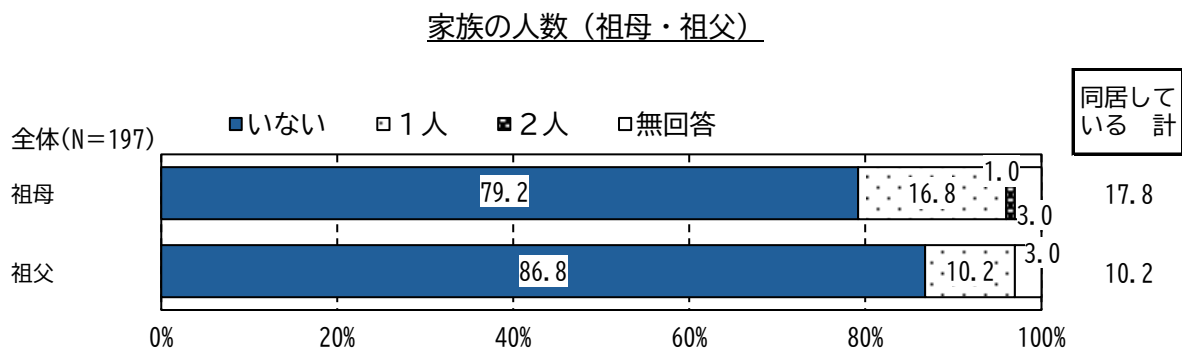


2. 家族構成について

(1) 家族の人数

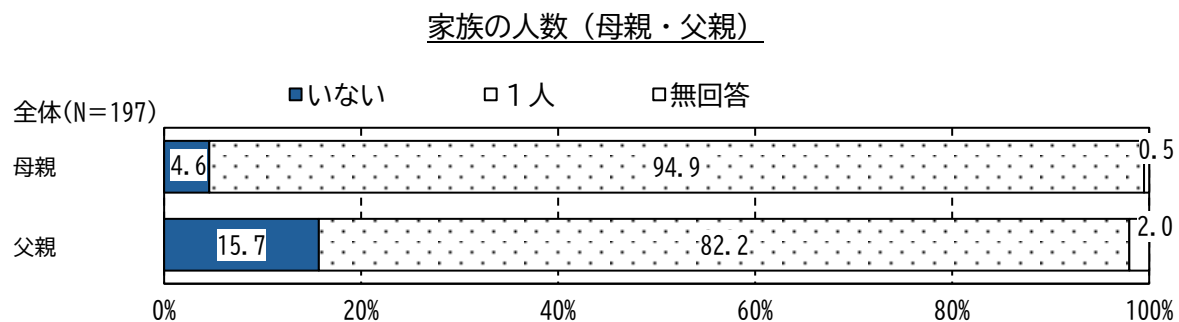
①祖母・祖父

家族構成について、祖母と同居している割合は 17.8%、祖父と同居している割合は 10.2%となっています。



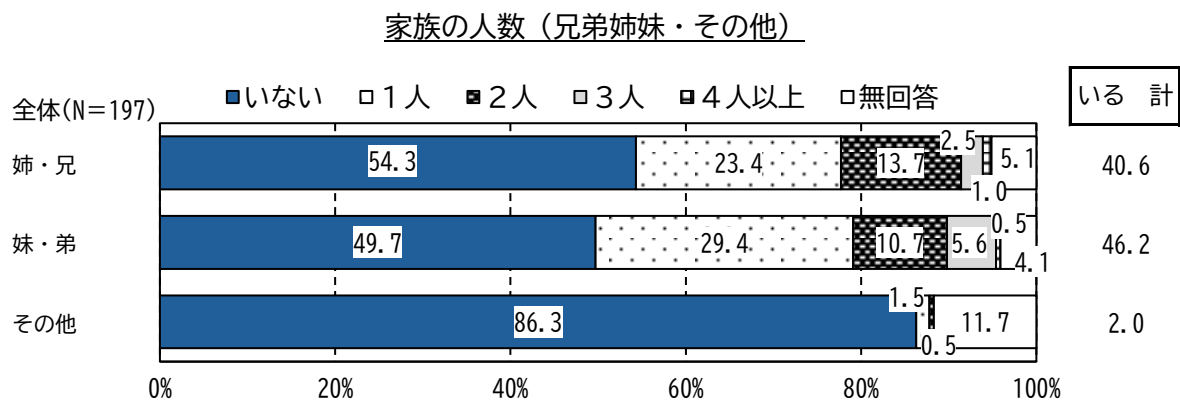
②母親・父親

母親が「いない」割合は 4.6%、父親が「いない」割合は 15.7%となっており、そのうち大半がひとり親家庭であると推測されます。



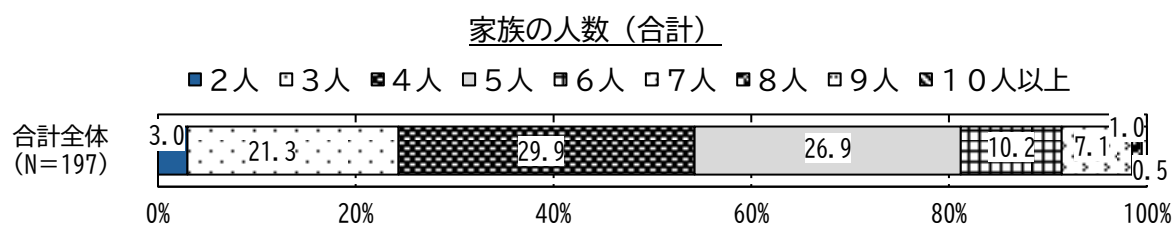
③兄弟姉妹・その他

姉・兄が「いる」割合は40.6%、妹・弟が「いる」割合は46.2%となっています。



④合計

家族の合計人数について、「4人」(29.9%)が最も多く、次いで、「5人」(26.9%)、「3人」(21.3%)の順となっています。

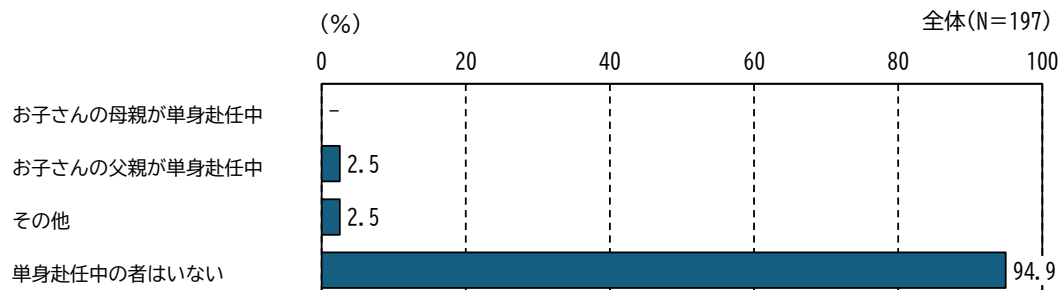


3. 世帯の状況について

(1) 家族の単身赴任状況

家族の単身赴任状況について、「お子さんの父親が単身赴任中」が2.5%となっています。

家族の単身赴任状況（複数回答）



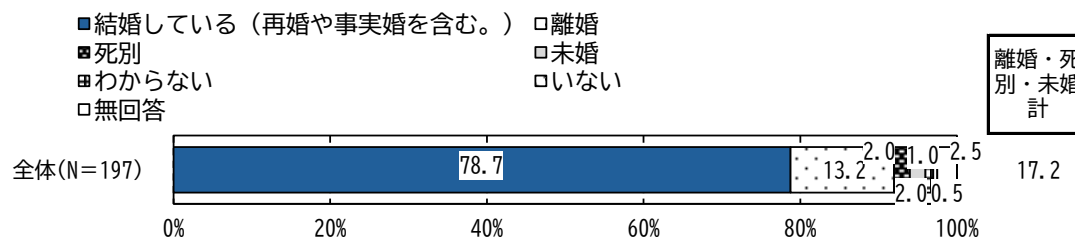
(2) 親の婚姻状況

①親の婚姻状況

親の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」(78.7%) 割合は8割弱となっています。

「離婚」、「死別」、「未婚」を合わせると17.2%となっています。

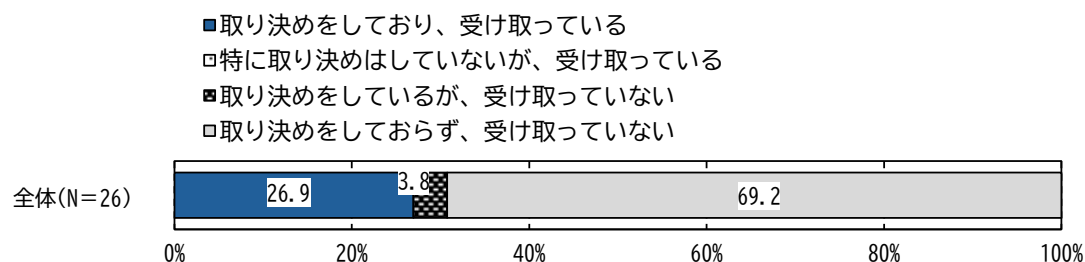
親の婚姻状況



②養育費の取り決め状況

離婚している保護者の養育費の取り決め状況について、「取り決めをしておらず、受け取っていない」(69.2%) 割合が約7割を占めており、「取り決めをしており、受け取っている」(26.9%) 割合は3割未満となっています。

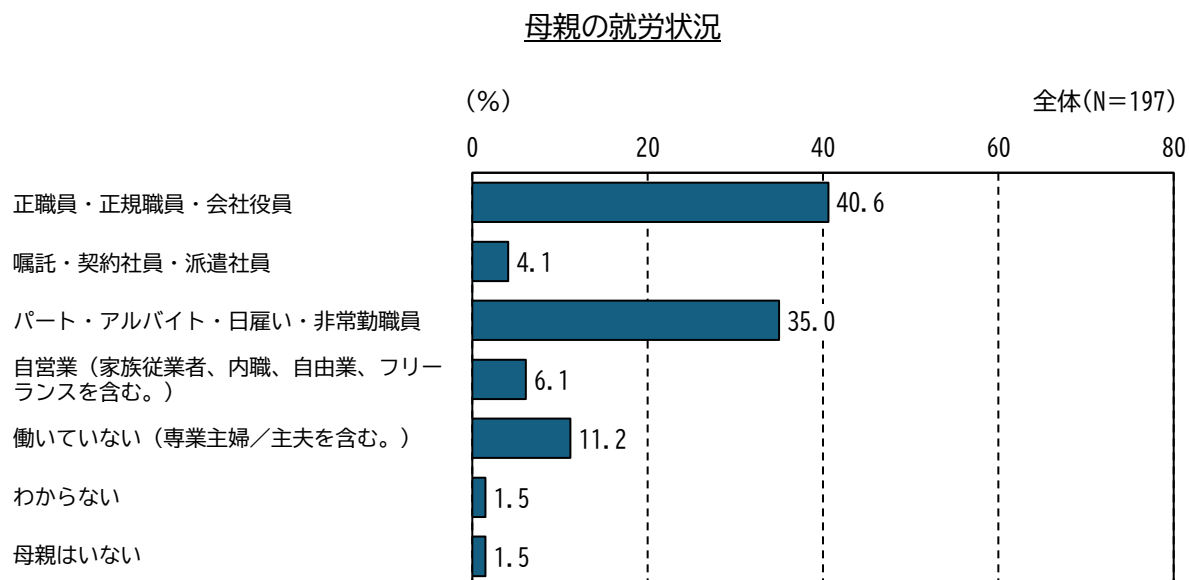
養育費の取り決め状況



(3) 母親の就労状況

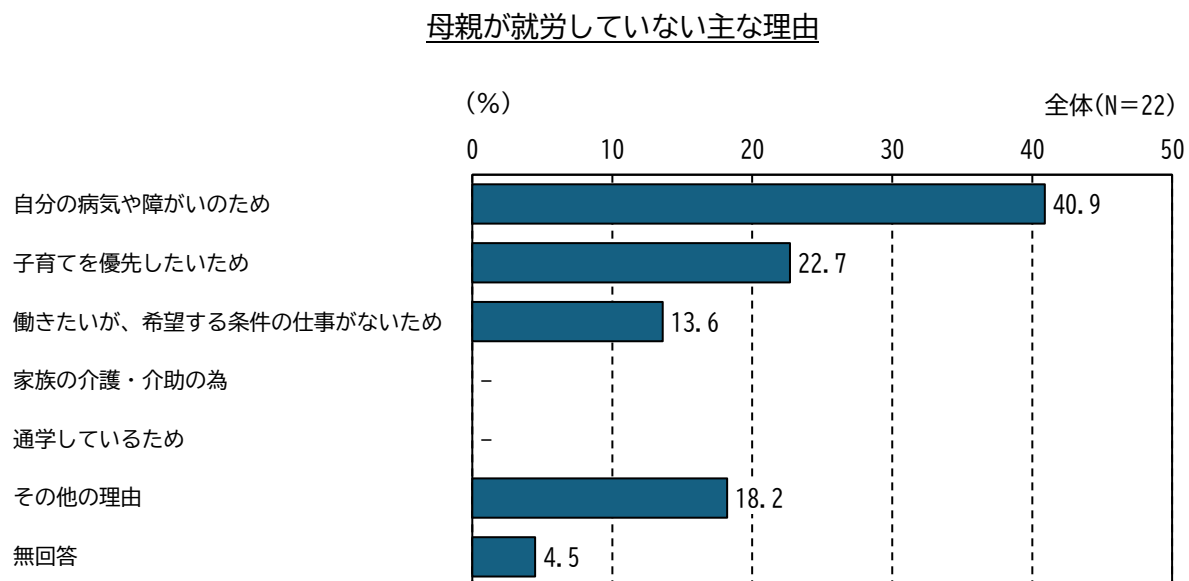
①母親の就労状況

母親の就労状況について、「正職員・正規職員・会社役員」(40.6%)が最も多く、次いで、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」(35.0%)、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」(11.2%)の順となっています。



②母親が就労していない主な理由

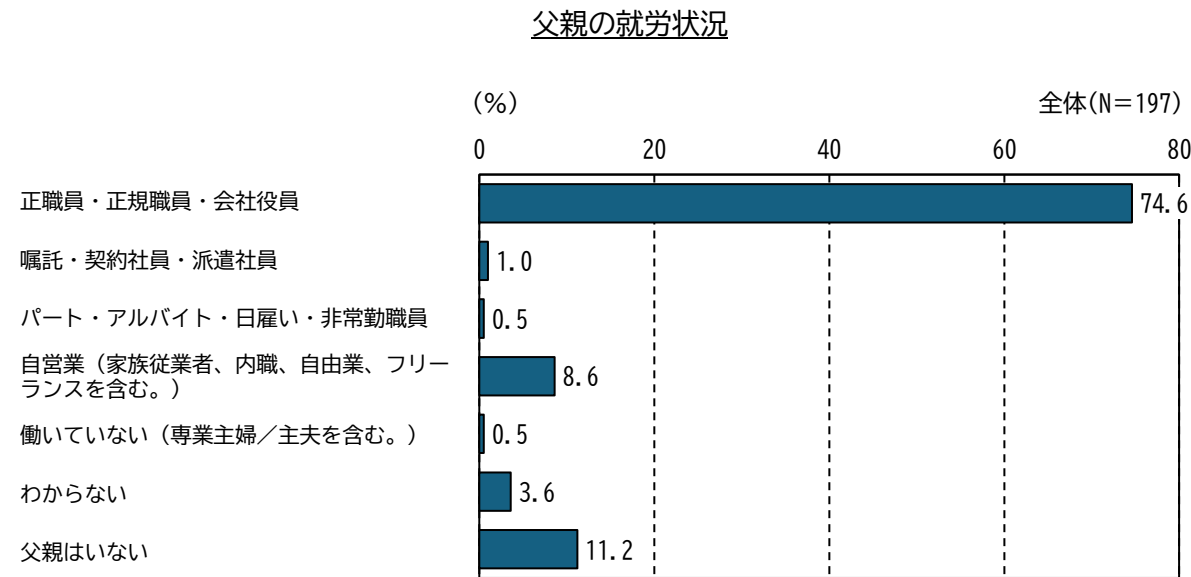
就労していない母親の主な理由について、「自分の病気や障がいのため」(40.9%)が最も多く、次いで、「子育てを優先したいため」(22.7%)、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」(13.6%)の順となっています。



(4) 父親の就労状況

①父親の就労状況

父親の就労状況について、「正職員・正規職員・会社役員」(74.6%)が最も多く、7割以上を占めています。次いで、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」(8.6%)、「嘱託・契約社員・派遣社員」(1.0%)の順となっています。



②父親が就労していない理由

就労していない父親は1件と少なくなっており、「子育てを優先したいため」と回答しています。

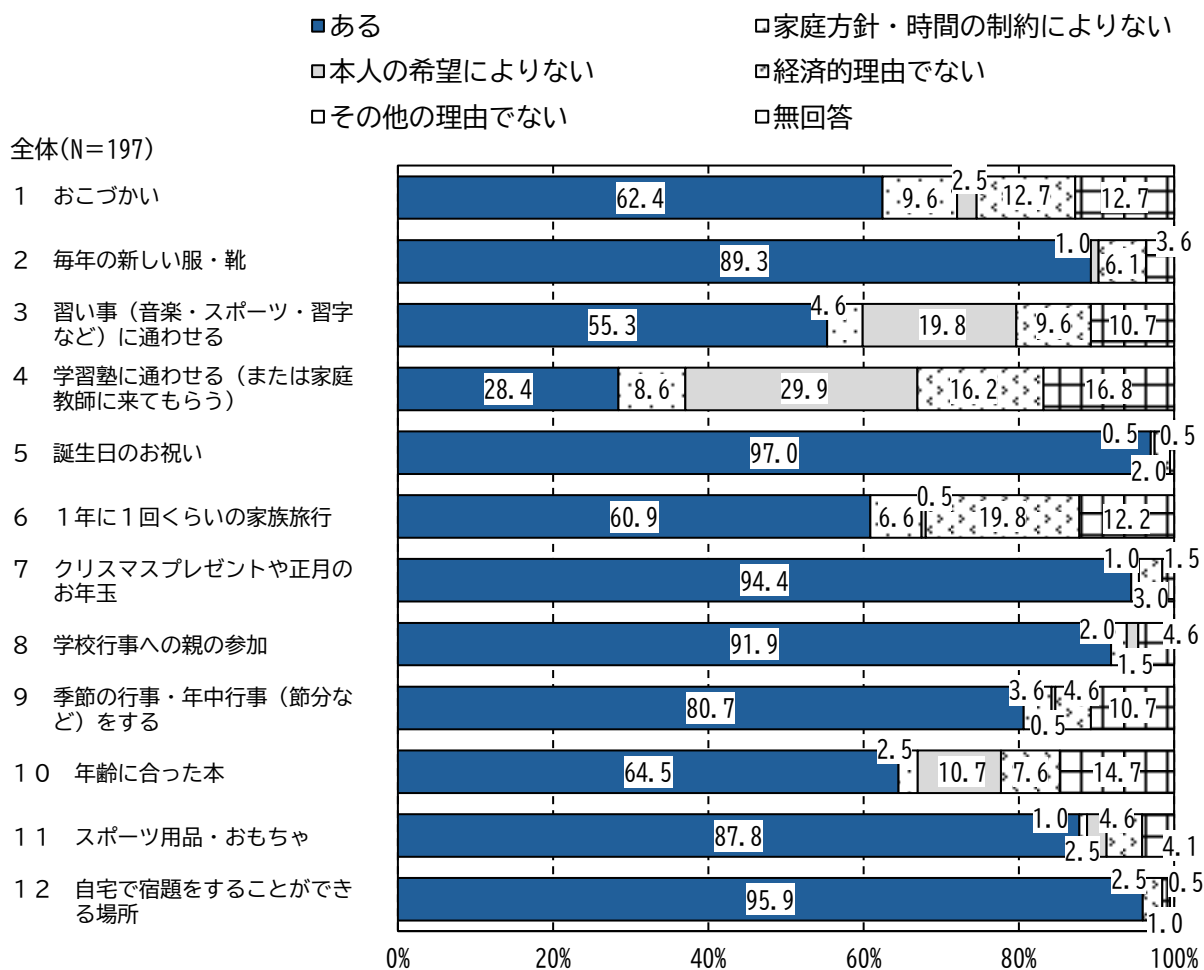
父親が就労していない理由							
単位：件数	調査数	なす働いた条件が、仕事が望	い子育てを優先した	の家族の介護・介助	い自分の病気や障が	通学しているため	その他の理由
全体	1	-	1	-	-	-	-

4. 子どもとの関わり

(1) この1年間において該当する項目の有無

この1年間において該当する項目の有無について、ほとんどの項目で「ある」が最も多く、8割以上となっていますが、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」では「本人の希望によりない」（29.9%）が最も多くなっています。また、「習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる」でも、「本人の希望によりない」（19.8%）が他の項目より多くなっています。

この1年間において該当する項目の有無

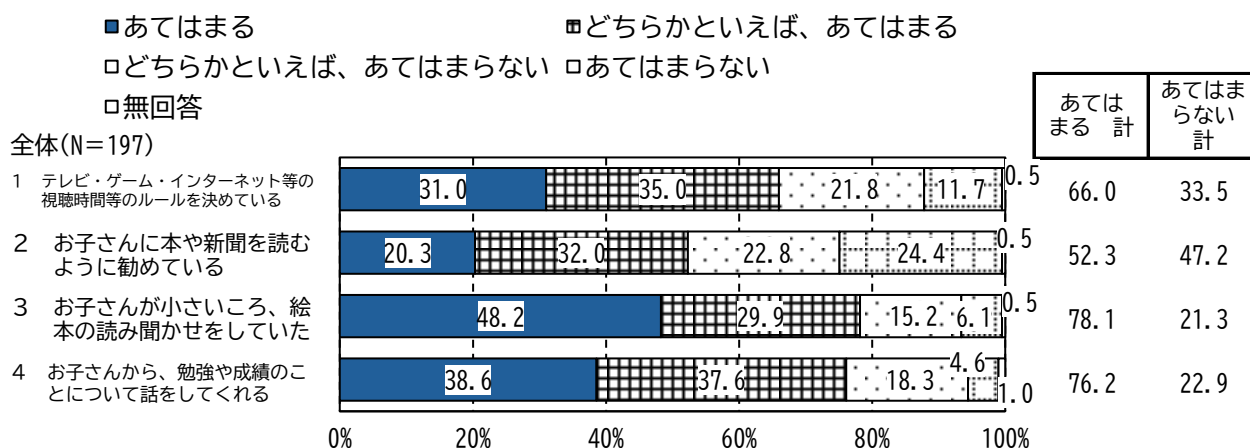


(2) 子どもとの関わりについて

子どもとの関わりについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は、「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」(78.1%)と「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」(76.2%)で7割以上を占めており、特に多くなっています。

一方、「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた『あてはまらない』は、「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」(33.5%)と「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」(47.2%)で他の項目より多くなっています。

子どもとの関わりについて

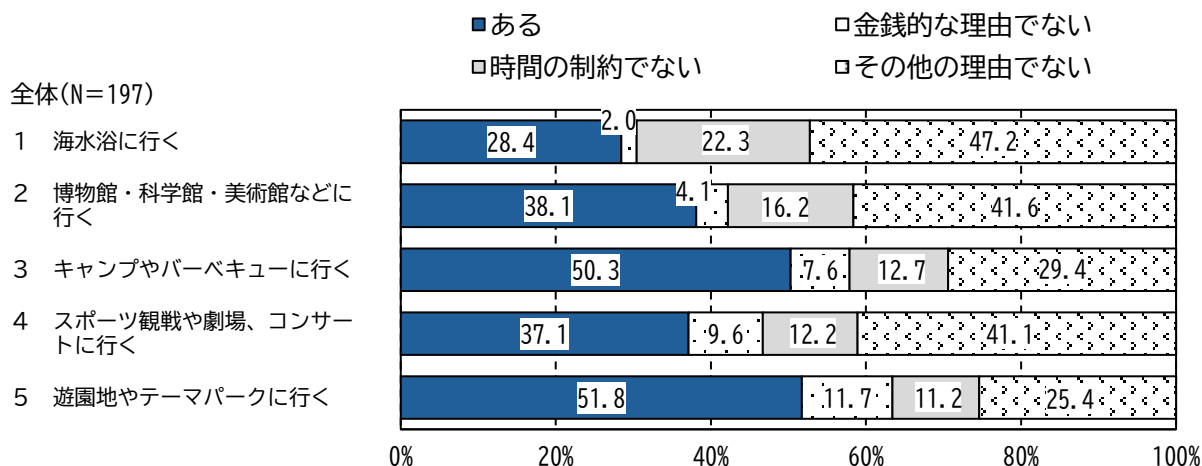


(3) 家庭におけるこの1年間での体験の有無

家庭におけるこの1年間での体験の有無について、「ある」割合は「キャンプやバーベキューに行く」(50.3%)と「遊園地やテーマパークに行く」(51.8%)で5割以上となっており、他の項目より多くなっています。

「海水浴に行く」で、「時間の制約でない」(22.3%)割合が他の項目より多くなっています。

家庭におけるこの1年間での体験の有無

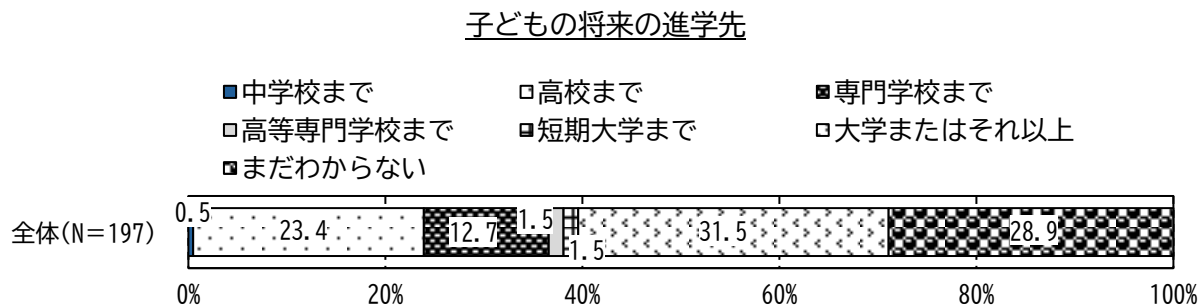


5. 進路について

(1) 進路について

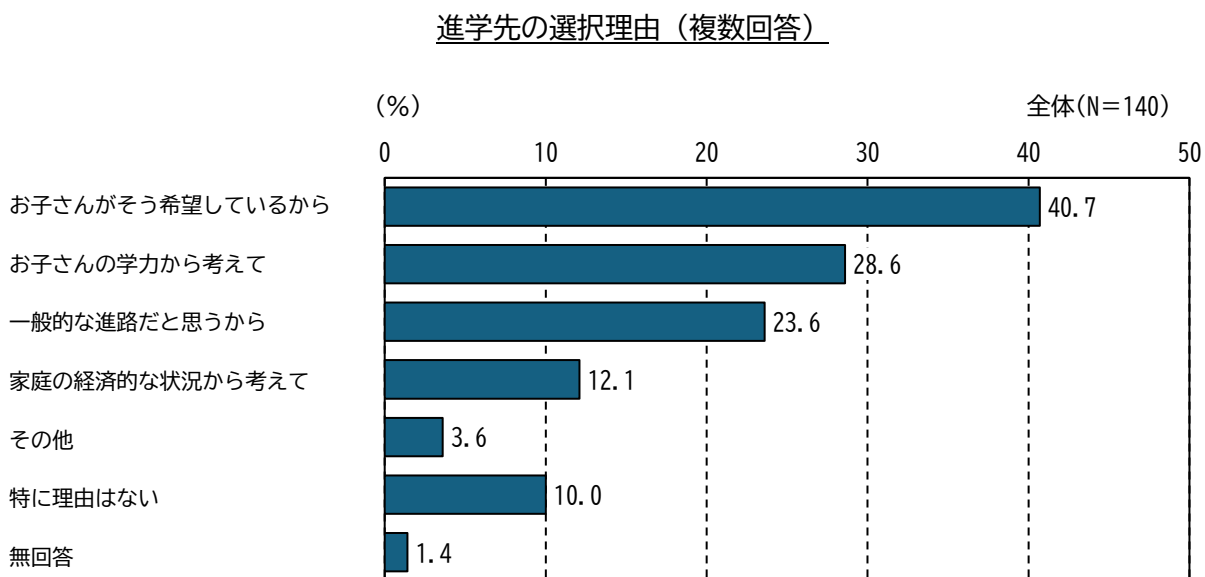
①子どもの将来の進学先

子どもの将来の進学先について、「大学またはそれ以上」(31.5%)が最も多く、次いで、「高校まで」(23.4%)、「専門学校まで」(12.7%)の順となっています。一方で、28.9%の人が「まだわからない」と回答しています。



②進学先の選択理由

子どもの将来の進学先がまだわからない人以外の進学先の選択理由について、「お子さんがそう希望しているから」(40.7%)が最も多く、次いで、「お子さんの学力から考えて」(28.6%)、「一般的な進路だと思うから」(23.6%)の順となっています。

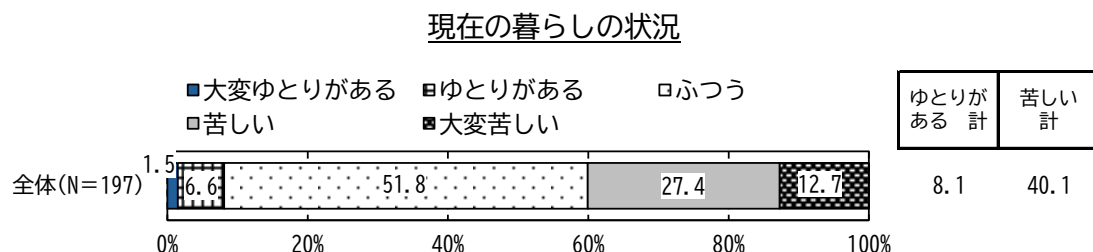


6. 暮らしの状況

(1) 現在の暮らしの状況

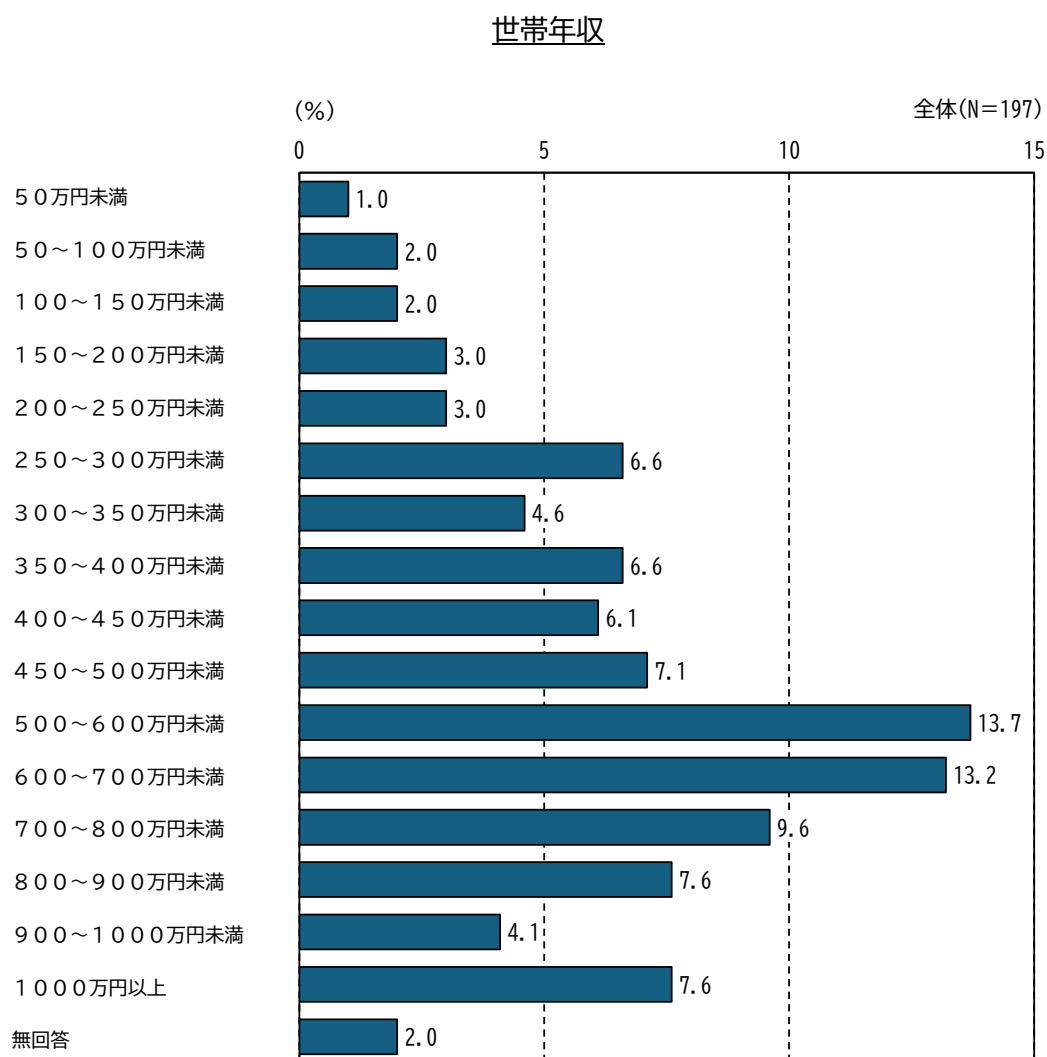
現在の暮らしの状況について、「大変ゆとりがある」(1.5%)と「ゆとりがある」(6.6%)を合わせた『ゆとりがある』(8.1%)割合は1割未満となっています。

一方、「苦しい」(27.4%)と「大変苦しい」(12.7%)を合わせた『苦しい』(40.1%)割合は約4割となっています。



(2) 世帯年収

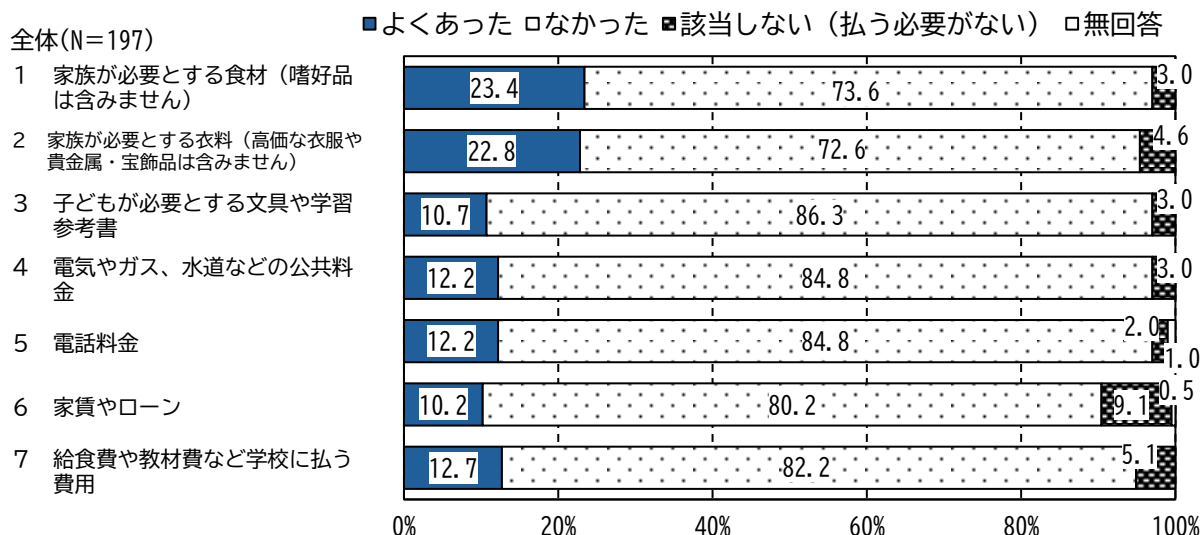
世帯年収について、「500～600 万円未満」(13.7%)が最も多く、次いで、「600～700 万円未満」(13.2%)、「700～800 万円未満」(9.6%)の順となっています。



(3) お金が足りなくて買えないこと・払えないこと・控えたことの有無

お金が足りなくて買えないこと・払えないこと・控えたことの有無について、「よくあった」割合は、「家族が必要とする食材（嗜好品は含みません）」(23.4%)と「家族が必要とする衣料（高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません）」(22.8%)で他の項目よりも多くなっており、食材や衣料が家計の影響を受けやすい傾向がみられます。

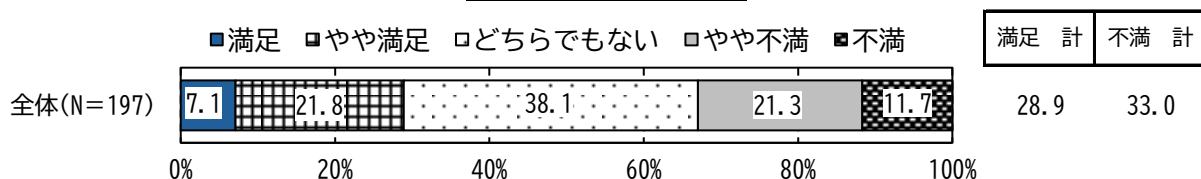
お金が足りなくて買えないこと・払えないこと・控えたことの有無



(4) 最近の生活への満足度

最近の生活への満足度について、「満足」(7.1%)と「やや満足」(21.8%)を合わせた『満足』(28.9%)の割合よりも、「やや不満」(21.3%)と「不満」(11.7%)を合わせた『不満』(33.0%)の割合の方が多くなっています。

最近の生活への満足度

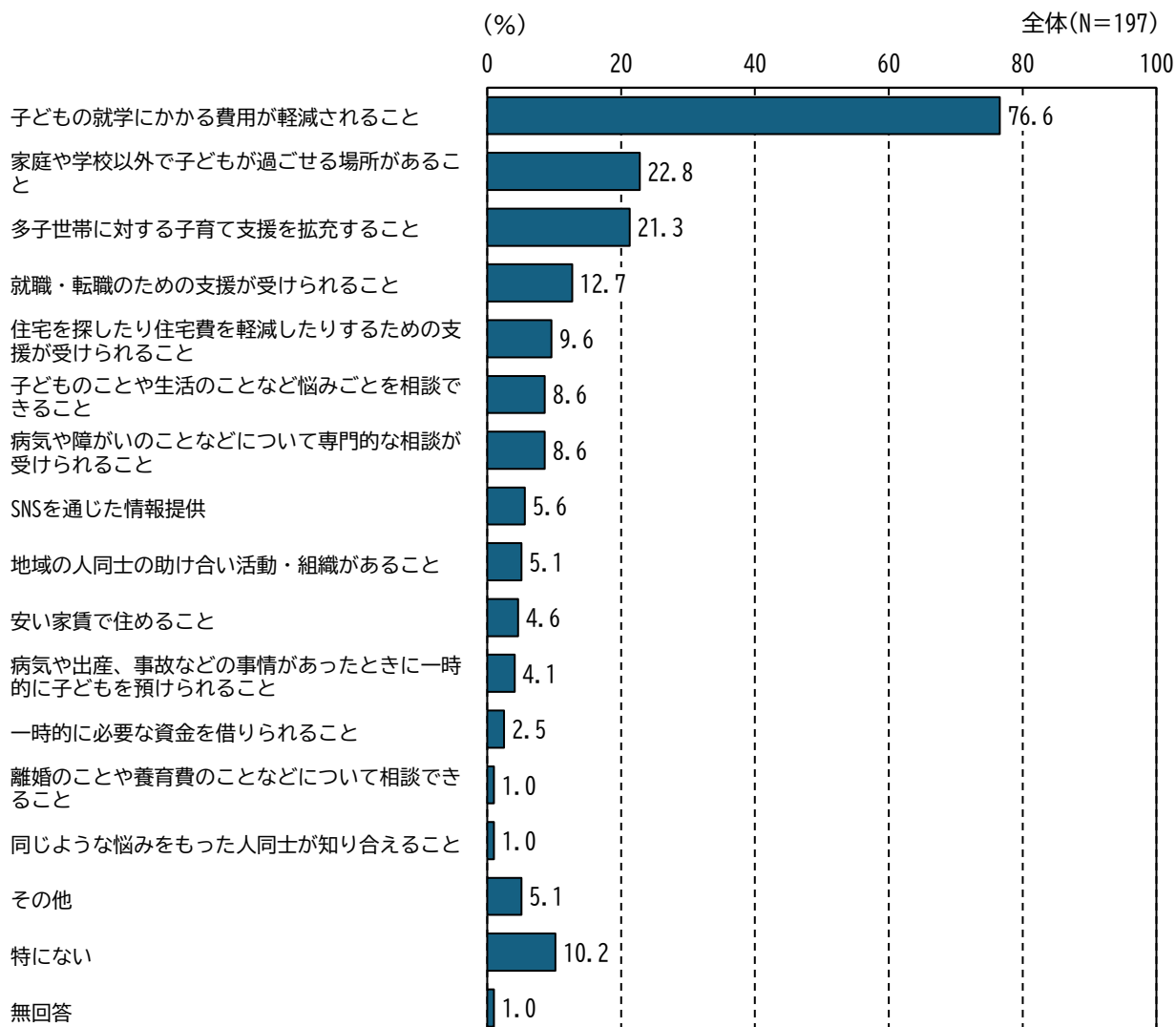


7. 支援ニーズ

(1) 現在必要なこと、特に重要だと思う支援等

現在必要なこと、特に重要だと思う支援等について、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」(76.6%)が最も多く、7割以上を占めています。次いで、「家庭や学校以外で子どもが過ごせる場所があること」(22.8%)、「多子世帯に対する子育て支援を拡充すること」(21.3%)の順となっています。

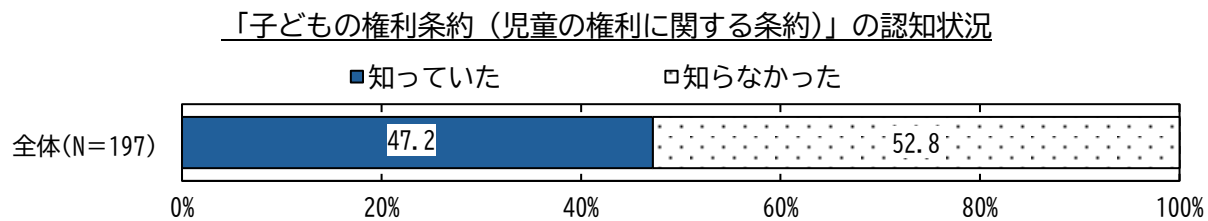
現在必要なこと、特に重要だと思う支援等（3つまで回答）



8. 子どもの権利について

(1) 「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の認知状況

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」の認知状況について、「知っていた」（47.2％）割合は4割以上となっています。



V. 自由回答

V. 自由回答

様々なお意見が寄せられました。なお、記入された内容については、誤字・脱字の修正以外、原文のまま掲載しています。

1. 学校・教育について

【小学生・中学生】

意見
受験勉強が大変。姉のように大学に行って、バイトで稼いだお金で海外旅行に行って、都会で1人暮らしをしたいから勉強を頑張るけど、平日2日、土日も塾はつらい。ゲームを楽しんでいる友達の話の聞いていると凄く羨ましく思うけど、大学生生活を夢見て頑張っている。
学校で、私のクラスの友達が仲間はずれなどにされていることが困りごと。

【保護者】

意見
中学校の部活動について困っている。共働き世帯が増えている中で、保護者が毎週のように部活動に参加しなければならず、非常に大変である。多子家庭はより大変だろうと思う。
学力が地域的に低い。
中学生になって、小学生の頃に比べると担任や学校からのお知らせが保護者に対して少ない。他にも中学校生活は不満だらけだが、学校に文句を言えば「子が先生から目をつけられるからやめてくれ」とみんな言います。「小学校に戻るか、早く卒業したい」と言うから、環境が悪いのだと思います。
教育環境の改善や水準の向上。役場・小学校の統合など施設面が新しくなる今だからこそ、親子にとって魅力的な教育環境をつくってほしい。子ども達が学校以外でも遊びたい・集まりたい・学びたいと思う落ち着いた環境をつくり、心と知識の豊かさを生み出してほしい。
勉強をしない！
不登校ぎみなのを解消したい。
特に冬など暗い日は帰りが心配なため、位置情報があると安心だが、携帯は不可。時代に合っていない。
高校進学など。
高校受験。
子どもに家庭教師などをつけたいと思うが余力がなく、学業面が心配。寺子屋など、お金のことを気にせず子どもが学べる場所をつくってほしい。
地域の学校の学力が低い。教師の質が低い。

2. 通学時のバス利用について

【小学生・中学生】

意見
学校までが遠く、北小学校出身の生徒の所にもバスを出してもらいたい。
全ての校区でバス通学を希望します。
中学校のスクールバスに私の校区は乗れないこと（家から片道2.4キロ）。自転車だから大荷物が持って帰れない。雪の日も学校に行けない。凄く凄く不便！荷物が重すぎて自転車のカゴが壊れた。カゴが重くてバランスを崩し、転けてケガをしたこともある。不便なことしかない。スクールバスをつくるなら、みんなを乗せた方がいいと思う。

【保護者】

意見
鞍手町は中学校にバスの利用ができることを入学するまで知らず、送迎はどうしようか悩んでいたのも、利用ができ大変有り難く思っています。
通学にバスが使えない。
酷暑や天候、部活をやるにあたり、帰宅時間などを考慮し、安全に帰れるバス通学ができれば良いと思います。通学時間がルーズになり、バスだと守れるような気がするし、親の送り迎えの負担が減ると思います。
駅まで送迎できない時があるため、通学の朝夕時、駅までのバスがあるといいなと思う時がある。バスがあれば、送迎に使っていた時間に家事ができたり助かる。
小学校統合の際、全地域スクールバスにしてください。小学生が重たいランドセルを持って暑い日も、寒い日も3キロ以上の道を歩いて登校することが現実的か考えて下さい。これだけ気候が変わり、考え方も変わってるのに、4キロまで徒歩圏内なんて決まりは有り得ない。中学も同じく。まだ自転車通学が認められてる分いいが、天気の良い日や暑い、寒い日は送迎しないといけない。結局は、親が送り迎えしたらいいいという考えなのか、バス通学の子との差がありすぎる！子どもにも、親にも負担もがかかっていることを知って改善してほしい。
中学校の通学が不便。バスの所は良いが、ぎりぎりバスに乗れない所は雨が降ったりする度に送迎が必要になり、負担（歩きでは30分以上かかる）。不公平。
剣北小学校校区に住んでいる中学生は自転車通勤。雨などが降れば親の負担増。バス代、自転車のヘルメット代等、お金がかかるのに何も補助がないし、バスを出してほしい。

3. 公共施設など、町の環境について

【小学生・中学生】

意見
部活後、帰りが1人の時、夜道が怖い。
飲食店のチェーン店などが無いのも不便だし、勉強を集中してできる施設をもっと増やしてほしい。ご飯を食べられる所を増やしてください。
私は本が好きで、自分でよく小説を買い、読んでいます。ですが、近くに大きな本屋というのがなく、買いたくなった時にすぐ買うことができず、少し困っています。
駅が凄く臭い（牛糞）。鶏糞の臭いが臭い。
遊ぶ場所が少ない。

【保護者】

意見
今とても助かっているため、高校へ行く時は駅までどうしようか悩んでしまいます。駅まで距離があるため、出勤、登校時間や夕方下校時間にバスが頻繁に走ってもらえると安心なのですが。
自転車で行くとしても道や街灯が整備不足で、安全でないのが心配。

4. 金銭・経済面について

【保護者】

意見
物価高騰。常に貧困。
生活費が足りなくて困り、ギリギリの生活だった。
多くの費用がかかる。

【保護者】

意見
今は夫婦共働きですが、年齢を重ねてきており健康や体力面で不安もあります。夫婦のどちらかが仕事ができなくなったりしたら、たちまち家計が厳しくなるだろうなと思うと贅沢などできませんし、買い物なども必要最低限の物しか購入していません。子どもには人並みの生活と教育を受けさせるのが親の務めと思っていますので、教育面に関しては本人が望むのであればお金をかけてあげたいと思っています。しかし、私達夫婦の老後の生活もありますし、老後の資金も必要ですので、子どもに関しては我が家は1人っ子で、2人目、3人目はとても考えられません。子どもにかかる教育費の無償化、子ども手当などが更に拡充しなければ、子どもをきちんと育てることなどできません。今現在、3人目は毎月3万円の子どもの手当が支給されるようになりましたが、そんな金額では到底足りませんし、1人目から3万円なら、3人ぐらいいは産み育てていたかもしれません。
固定資産税の減税を希望します。
給食費が高すぎる。
物価高で生活が苦しく、支払いもできなくなっている。子どもの高校進学も控えているので、どうすればいいか悩んでいる。
児童扶養手当等の所得制限があり、支給を受けられない。子どもにかかる費用は同じなのに、働く母親が支援を受けられないことに疑問を感じています。せめて、所得に関係なく就学費用の支援が受けられるようにしてほしいです…。
年収が1,000万あれば高所得と言われます。高校の無償化も適用されない。子どもが生まれてから、児童手当をまともにもらったこともありません。いろんな手当をもらえていません。税金だけたくさん支払い、生活は苦しいです。
妻が介護をしているのであまり働けないため、子どもの塾代や習い事の費用が高くて苦しい。
お金がなくて我慢させることが多い。いろんなことにふれる機会が失われている。
俗にいう普通世帯だと思います。制度や社会変化の影響をまろに受け、少なからず子どもへの影響が感じられます。制度等の世帯区分下限に該当することが多く、何かしら子ども達へ協力をお願いすることがあります。我慢や意見できない状況をつくってしまっているのか不安です。
支援をお願いします。
今は暮らせているが、将来必要になるお金を貯蓄する余裕がない。子どもの教育費、持ち家の維持費、電化製品が壊れた場合の出費など。
物価が高すぎて 果物を買うことがなくなり 果物を食べさせることがなくなってしまった。
3人以上の子育て世帯にもう少し支援があればいいと思う。小学校の毎月の諸費用の金額が高いと思う。
子どもの給食費を無償化してほしい。
私立高校入学や費用が高すぎる。私立高校支援金が33,000円と9,900円の差が大きすぎるので、負担が大きい。103万の壁がありたくさん働けないのに、私立の支援金が高くなるのは家庭への負担が大きすぎる。行きたい高校があっても収入が気になり、入試を考える。入学しても支払っていけるのか心配。
成績が良くないので塾に行かせたいが、金額が高く、行かせてあげられない。
ゆとりの生活。103万の壁がなくなるといい。
高校費用軽減などの制度が、世帯収入によって限られているため受けられず、苦しい。
物価高騰で生活が苦しくなっている。賃金を上げてもらわないと正直きつい。
給食費など、学校の費用が無料になると助かります。
母子家庭、低所得者の方ばかり支援するのはどうかと思う。そのような人達はよく旅行に行ったり、夜になると彼氏が帰ってきたり。鞍手町はそんな人が多い。税金ばかり払い、支援のない家庭ほど生活が苦しい。
今、いろいろ物価が上がっている中、給料は上がらず、子どもの教育費もかかるのが現状です。今後、どう生活していくのか…死活問題です。この小さな町、鞍手から変えるのは難しいとは思いますが…何かを変えないと何も変わりません。少しずつでもいいので税金を安くするとか、家族が多い世帯にはゴミ袋を無料にするとか、何かを変えてください。よろしくお願いします。

5. 行政への要望等

【小学生・中学生】

意見
役場にお金かけすぎです。もっと違うところにお金をかけてほしいです。高齢者が多いかもしれないけど、若者のことも考えてください。若者が増える環境にしてください。

【保護者】

意見
水道料金に比例して下水道料金が上がるので、計算方法を変えてほしい。
高齢者・子どもなどに手厚いまちづくり。予算の確保。
申請等の電子化を進めて、いつでも申請できるようにしてほしい。
以前、ホームページに問い合わせをしましたが、その件に関して何も対応して頂けなかった。部活動に関するお願いとして。せめて返信を頂ければと思いました。宮若市ではすぐに対応頂けました。
人口減少、少子高齢社会です。役場の方々も大変でしょうが、私達住民もやるべきことはやりますので、公務員として鞍手町の子ども真ん中社会、真ん中の町の向かうべき道筋を形にして頂きたいと思います。

6. その他

【小学生・中学生】

意見
我慢していることが多い。
困っていない。
楽しい。
毎日楽しいです。
学校で、私のクラスの友達が仲間はずれなどにされていることが困りごと。
とても満足している。
夫婦ゲンカをしている時がきつい。
野球が楽しい。

【保護者】

意見
託児所代わりに預けてきて、文句だけ言う人。暴言を吐いてくる親子。勝手に家にあがり込む人。鞍手に住んでから信じられない出来事が多く、驚いています。結果、週末子ども達は外に出たがりません。親子でストレスを感じています。
配偶者（妻）が比較的時間の都合がつけやすいので、子どもの希望に沿って学校関係、習い事の送迎等々を全て行えている。逆にいえば、子どものことを優先したいという価値観のため、配偶者がフルタイムで働くことの障害になっている側面もある。
学校のホームページなどがいないため、行事等の情報や様子が得られにくい。
鞍手町には小児科が1カ所しかなく、しかも急病でも待たされ、子どもの体調に関して気軽に相談ができない。

【保護者】

意見
何もない。いたって元気。
タブレットのやりすぎ。
仕事を続けていく自信がなく、子どもを希望通りの進路に進ませることができるか不安。
自分が子どもの時はオアシス運動でよく挨拶をしてましたが、子どもは挨拶が少ない気はしています。また、時代の流れかもしれませんが、友達との会話を聞いていても、言葉遣いも変わっていることに時々驚かされることはあります。

令和 6 年度
鞍手町子どもの生活に関するアンケート報告書

令和 7 年 3 月発行

発行：鞍手町 健康こども課 子育て支援係
〒807-1392 福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧 2080 番地 2
TEL：0949-42-2111
FAX：0949-42-5693